



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月10日

上場会社名 **ダイト株式会社** 上場取引所 **東**
 コード番号 **4577** URL **http://www.daitonet.co.jp/**
 代表者 (役職名) **代表取締役社長** (氏名) **大津賀 保信**
 問合せ先責任者 (役職名) **執行役員経営企画室長** (氏名) **埜村 益夫** TEL **076-421-5665**
 四半期報告書提出予定日 **平成26年1月14日** 配当支払開始予定日 **—**
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : **有**
 四半期決算説明会開催の有無 : **有**

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績（平成25年6月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	15,354	5.0	1,535	10.4	1,526	12.3	911	0.1
25年5月期第2四半期	14,630	6.2	1,390	△8.7	1,359	△9.6	910	4.6

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 1,009百万円 (△0.7%) 25年5月期第2四半期 1,017百万円 (31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	92.20	—
25年5月期第2四半期	101.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	36,136	15,787	42.7	1,562.43
25年5月期	34,762	15,073	42.4	1,492.10

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 15,445百万円 25年5月期 14,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想（平成25年6月1日～平成26年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	7.1	2,750	2.7	2,700	6.3	1,670	△6.5	168.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年5月期2Q	9,885,968株	25年5月期	9,885,968株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	389株	25年5月期	354株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年5月期2Q	9,885,589株	25年5月期2Q	8,956,626株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果が波及し、本年1月に策定された緊急経済対策関連の事業執行もあり、景気は緩やかに回復する兆しが出てまいりました。

医薬品業界におきましては、平成25年4月に厚生労働省より「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が公表され、ジェネリック医薬品の数量シェアを平成30年3月末までに60%以上とする目標が設定されました。またその一方で、国内外における企業間競争の激化等もみられ、厳しい環境での推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは生産活動の充実を図りながら積極的な営業活動を展開いたしました。売上高の販売品目ごとの業績は次のとおりであります。

原薬では、解熱鎮痛消炎剤原薬、血圧降下剤原薬及び高脂血症用剤原薬などのジェネリック医薬品向け原薬の販売が好調に推移したことに加え、新たに貼付剤向け原薬の供給を開始したこと等により売上高は9,702百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

製剤では、医療用医薬品において、国内大手医薬品メーカーからの製造受託の減少や、自社開発のジェネリック医薬品で前年同期に新規製品の販売があったこと等があり、厳しい状況で推移いたしました。また一般用医薬品においては、市場自体の伸び悩み等の影響を受けながらも、大手医薬品メーカーへの既存品目の販売等が比較的順調に推移いたしました。これらにより、製剤の売上高は5,449百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

健康食品につきましては、新商品の販売等により、堅調に推移し、売上高は203百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

これらの結果、当社グループとしての売上高は15,354百万円（前年同期比5.0%増）となり、売上高の増加並びにリース料及び研究開発費の減少等により、営業利益は1,535百万円（前年同期比10.4%増）、経常利益は1,526百万円（前年同期比12.3%増）となりました。また、特別損益として前年同期に計上した受取保険金及び負ののれん発生益がなかったことにより四半期純利益は911百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,374百万円増加し、36,136百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少1,356百万円などがあった一方で、電子記録債権の増加1,094百万円、商品及び製品の増加275百万円、仕掛品の増加467百万円、原材料及び貯蔵品の増加219百万円並びに有形固定資産の増加314百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より661百万円増加し、20,349百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加654百万円、流動負債その他に含まれるファクタリング債務の増加656百万円などがあった一方で、短期借入金の減少560百万円及び長期借入金の減少417百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より713百万円増加し、15,787百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加614百万円などがあったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.3ポイント増加し、42.7%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より1,333百万円減少し、2,365百万円（前年同期比242百万円の減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,228百万円（前年同期比448百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,467百万円（前年同期比15百万円の増加）及び減価償却費1,213百万円（前年同期比27百万円の減少）の計上並びに仕入債務の増加額1,308百万円（前年同期比832百万円の増加）があった一方で、売上債権の増加額1,479百万円（前年同期比283百万円の増加）、たな卸資産の増加額962百万円（前年同期比669百万円の増加）及び法人税等の支払額286百万円（前年同期比311百万円の減少）の計上があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,164百万円（前年同期比123百万円の増加）となりました。これは主に、生産設備の拡充に伴う有形固定資産の取得による支出1,234百万円（前年同期比162百万円の増加）があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,456百万円（前年同期は1,291百万円の取得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,000百万円（前年同期比650百万円の減少）があった一方で、短期借入金の純減少額560百万円（前年同期比2,066百万円の減少）及び長期借入金の返済による支出1,305百万円（前年同期比31百万円の減少）、

社債の償還による支出100百万円（前年同期比20百万円の増加）及び配当金の支払額295百万円（前年同期比26百万円の増加）があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の連結業績予想につきましては、平成25年7月9日に公表いたしました業績予想数値は修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、連結子会社である大和薬品工業株式会社の決算日は3月31日であり、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりましたが、四半期連結会計期間末日を一致させることで連結財務諸表のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、決算日を11月30日に変更しております。

この決算期の変更に伴い、当第2四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年11月30日までの8ヶ月間を連結しており、決算期変更した連結子会社の平成25年4月1日から平成25年5月31日までの売上高は558百万円、営業利益は84百万円、経常利益は79百万円、税金等調整前四半期純利益は78百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,149,061	2,792,702
受取手形及び売掛金	9,298,457	9,516,546
電子記録債権	351,559	1,445,632
商品及び製品	892,027	1,167,358
仕掛品	1,589,308	2,056,524
原材料及び貯蔵品	1,536,652	1,756,121
その他	770,564	950,119
貸倒引当金	△55,420	△61,883
流動資産合計	18,532,211	19,623,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,961,236	6,915,217
機械装置及び運搬具(純額)	3,718,111	3,693,361
その他(純額)	2,312,684	2,698,142
有形固定資産合計	12,992,032	13,306,721
無形固定資産	558,343	545,591
投資その他の資産		
投資有価証券	2,326,175	2,397,474
その他	399,259	309,096
貸倒引当金	△45,754	△45,222
投資その他の資産合計	2,679,680	2,661,348
固定資産合計	16,230,057	16,513,662
資産合計	34,762,268	36,136,784
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,185,922	3,840,052
短期借入金	4,070,000	3,510,000
1年内返済予定の長期借入金	2,538,239	2,649,624
未払法人税等	292,973	567,093
引当金	71,752	45,708
その他	3,465,894	4,197,426
流動負債合計	13,624,782	14,809,905
固定負債		
長期借入金	4,869,725	4,452,714
退職給付引当金	207,788	172,535
その他	986,254	914,566
固定負債合計	6,063,768	5,539,816
負債合計	19,688,551	20,349,722

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,120,301	3,120,301
資本剰余金	3,006,492	3,006,492
利益剰余金	7,828,010	8,442,932
自己株式	△421	△471
株主資本合計	13,954,383	14,569,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	646,205	685,911
為替換算調整勘定	149,783	190,383
その他の包括利益累計額合計	795,988	876,294
少数株主持分	323,345	341,512
純資産合計	15,073,717	15,787,062
負債純資産合計	34,762,268	36,136,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	14,630,365	15,354,984
売上原価	11,518,545	12,216,646
売上総利益	3,111,819	3,138,338
返品調整引当金戻入額	—	228
返品調整引当金繰入額	415	—
差引売上総利益	3,111,404	3,138,566
販売費及び一般管理費	1,720,657	1,603,359
営業利益	1,390,746	1,535,207
営業外収益		
受取利息	26	6,347
受取配当金	21,678	30,442
負ののれん償却額	939	—
受取保証料	11,423	15,905
その他	22,704	19,600
営業外収益合計	56,773	72,295
営業外費用		
支払利息	67,170	50,615
その他	20,805	30,509
営業外費用合計	87,976	81,124
経常利益	1,359,543	1,526,377
特別利益		
受取保険金	65,513	—
補助金収入	—	8,456
負ののれん発生益	58,494	—
投資有価証券売却益	200	10,964
特別利益合計	124,207	19,421
特別損失		
固定資産除却損	31,733	8,155
固定資産圧縮損	—	8,456
支払補償費	—	61,118
その他	—	693
特別損失合計	31,733	78,424
税金等調整前四半期純利益	1,452,017	1,467,375
法人税等	541,936	555,269
少数株主損益調整前四半期純利益	910,081	912,105
少数株主利益	—	614
四半期純利益	910,081	911,490

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	910,081	912,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,710	39,705
為替換算調整勘定	9,638	58,141
その他の包括利益合計	107,348	97,847
四半期包括利益	1,017,430	1,009,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,014,563	991,789
少数株主に係る四半期包括利益	2,867	18,163

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,452,017	1,467,375
減価償却費	1,240,513	1,213,437
負ののれん発生益	△58,494	—
負ののれん償却額	△939	—
保険解約損益(△は益)	△65,513	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,228	5,931
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,590	△25,815
返品調整引当金の増減額(△は減少)	415	△228
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△21,122	△35,252
受取利息及び受取配当金	△21,705	△36,789
支払利息	61,170	51,171
補助金収入	—	△8,456
固定資産除却損	31,733	8,155
固定資産圧縮損	—	8,456
売上債権の増減額(△は増加)	△1,195,577	△1,479,269
たな卸資産の増減額(△は増加)	△292,356	△962,016
仕入債務の増減額(△は減少)	475,804	1,308,408
支払補償費	—	61,118
その他	△194,535	△32,063
小計	1,416,232	1,544,161
利息及び配当金の受取額	21,705	36,789
利息の支払額	△63,126	△48,148
補助金の受取額	—	8,456
法人税等の支払額	△598,598	△286,737
補償金の支払額	—	△44,108
その他	3,492	18,137
営業活動によるキャッシュ・フロー	779,705	1,228,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	474,305
定期預金の預入による支出	—	△467,161
有形固定資産の取得による支出	△1,071,980	△1,234,822
無形固定資産の取得による支出	△66,761	△39,387
有価証券の売却による収入	500	20,716
有価証券の取得による支出	△109,412	△5,662
有形固定資産の売却による収入	—	609
保険積立金の払戻による収入	171,452	96,894
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	62,015	—
その他	△27,010	△10,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,041,196	△1,164,852

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,506,000	△560,000
長期借入れによる収入	1,650,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,337,111	△1,305,626
社債の償還による支出	△80,000	△100,000
配当金の支払額	△268,758	△295,332
自己株式の取得による支出	△35	△50
リース債務の返済による支出	△178,532	△195,274
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,291,562	△1,456,283
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,930	59,116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,035,000	△1,333,468
現金及び現金同等物の期首残高	1,572,218	3,698,606
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,607,219	2,365,137

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。